

教会創立102周年
週 報
2025年5月11日 5341週

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。 （ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

巻頭言

牧師 加藤英治

私に影響を与えてくれた本②

井上良雄著『神の国の証人 ブルームハルト父子』（新教出版社、1982年）。これは、私が一番早く読み終えてしまった本です。470ページもの本を、ほぼ一日で読んでしまいました。若くて読む力があつた上に、内容にぐんぐん惹かれてやめることができないほどであつたのです。

私が最初に導かれた教会は、ある意味では「保守的」な教会でした。「伝道一筋」、それ以外教会がやるべきことは何もない、というような雰囲気でした。ここで私はとても多くのことを学びました。伝道への熱い思い、一人の魂のために祈り、何とかして伝えようとする熱意と努力。しかし大学に入ってからこの世の様々な事柄を知るにつけ、「ただそれだけでよいのか」という問いが、沸きあがつてきたのです。「信仰者は、特にこの世との関わりの中でいかに生きるべきか」ということが、ずっと心を悩ましていたのです。

そんな時に、この本とまさに「出会った」のでした。これは、19世紀から20世紀にかけてドイツで活躍した、ブルームハルトという牧師親子二代の神学的評伝です。父のブルームハルトも、息子の方も、学問の世界ではなく、地方の一教会や、この世の様々な人との関わりの中で、「在野」で働いた人です。

この本で、特に驚いたのは、「ここには、私が出会ってきた、キリスト教会のありとあらゆる立場の人、どんな人もいる」ということでした。父ブルームハルトは、牧会していた教会で、一人の少女を苦しめていた悪魔との激しい闘争の末に、「イエスは勝利者だ」との言葉と共に勝利を得ます。また子ブルームハルトは、当時の社会でひどく搾取され苦しめられていた労働者たち、貧しい人たちと連帯して生きようとして、「無神論者」「革命論者」と言われていた「社会民主党」に入り、議員となり、政治の世界でイエス・キリストを証しようとするのです。（続く）

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 磯部みゆき姉

奏楽 小田ひかり姉

前 奏
招 詞 イザヤ 6 : 5 ~ 8
頌 栄 6 6 8 (みさかえあれ(A))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 4 1 (新生・バプテスマ)
讃 美 2 4 2 (主は生きたもう)
聖 書 ガラテヤ 2 : 1 5 ~ 3 : 1
(新共同訳 344 p 口語訳 295 p)

祈 禱
子供メッセージ 加藤英治牧師
讃 美 4 3 0 (しずけき祈りの) 聖歌隊
宣 教 「キリストが生きて、生きている」
加藤英治牧師

祈 禱
讃 美 5 5 0 (ひとたびは死にし身も)
献 金 祈り：田中由紀子姉
(女性会 C 班)

頌 栄 6 7 2 (ものみなたたえよ(B))
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「わたしは世の終わりまで、あなたがたと共にいる。」

(マタイによる福音書

28 章 20 節 b) エ

今月の当番役員

島田利一 安武由美子

本日の集会

教会学校

幼稚科・小学科 中高科
青年・成人科
9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付：船津丸泰 田中登美子

木村正美(当番役員)

お花：二木榮子

会堂清掃 11 : 45 ~ 12 : 00

各会例会 12 : 00 ~ 12 : 45

◎今週の集会(5月11日~5月17日)

<聖書> ガラテヤ 4 : 8 ~ 20

14 日(水) 祈祷会 I 10 : 30

(奨励：加藤英治牧師)

14 日(水) 祈祷会 II

(奨励：加藤英治牧師) 19 : 30

今週の聖書日課と祈り

11 日(日)	ヨハネの黙示録	10 章	大森せい子
12 日(月)	ヨハネの黙示録	11 章	大森秀夫
13 日(火)	ヨハネの黙示録	12 章	小田ひかり
14 日(水)	ヨハネの黙示録	13 章	加藤英治
15 日(木)	ヨハネの黙示録	14 章	金井佳世子
16 日(金)	ヨハネの黙示録	15 章	鎌田美穂子
17 日(土)	ヨハネの黙示録	16 章	亀田千鶴子